

せんばはまや(姫路)リニューアルオープン

お客様に優しい店作り・細やかな心配りが好評

せんばはまや(姫路)は今年二月七日にリニューアルオープンした。旧店舗は約四十年前に建てられたもので、道の拡幅工事もあり、店舗を全面建て直した。新店舗は三階建てワンフロアは約百坪。一階の売場構成で特徴的なのは、お客様の接客場所が複数あること。中央のL字型のカウンター、階段下のカウンター、店舗の奥の仏壇展示コーナーのテーブルと三箇所ある。

濱田真輔社長は「お客様が複数いらっしゃる時に、それぞれのコーナーで対応できるようにしました」と語るが、心配りの細やかな店舗構成であり、座る場所がたくさんあるのはお年を召した方には嬉しいはずだ。また、一階にはお念珠工房が設けられている。ここでは四名のスタッフが念珠の修理を行う。「念珠修理の技術を持つベテランの社員が一人で、彼女が他の社員に技術を教えることで、店内に念珠工房を設けることができました。船場別院さんがすぐ傍で、お詣りの時に寄って頂く方も多

く好評です」と濱田社長は語る。店内は間接照明を取り入れた落ち着いた雰囲気。二階三階の床から天井まで伸びる格子状の灯りも印象的だ。二階には都市型仏壇と唐木仏壇、三階には金仏壇を展示するが、上から見るとコの字型の店舗で、予想以上の奥行きと広さを感じさせる。

◎せんばはまや 姫路市博労町一五二 TEL 079(296)0015 FAX 079(294)9716



リニューアルオープンしたせんばはまや



すっきりとしたエントランス



珠数修理をライブで行うお念珠修理工房



階段下の接客コーナー 商品を包むのに十分な広さの台を設置 麻の葉組みの文様建具を奥に飾り工芸の雰囲気演出する



濱田真輔社長は昭和45年生まれの子孫(2階の唐木仏壇展示コーナー) せんばはまやの創業は明治10年 昭和5年に船場別院の隣の現在地に移転してきた



中央の接客コーナー お客様同士が顔を合わせない接客空間 間接照明を取り入れた店内は温もりのある雰囲気



掛軸展示コーナー 工夫された襖重ねの展示



2階の接客スペースとギャラリーコーナー



1階奥の仏壇展示 仏壇展示の中心は2階3階 取材時は複数のお客様が来店中



3階の金仏壇展示 大型の姫路型仏壇の他京型などを展示



取材時のギャラリーコーナーは高級仏像の展示



2階エレベーター付近の仏壇 店舗はコの字型でここから奥行きのある空間が広がる